

## I からだと心のケアに関する講座

### 10 アダプテッド・スポーツと障がい福祉 —社会資源としてのスポーツ—

受講料 無料 8月31日(土)  
13:30~15:30

会場 本学札幌サテライトキャンパス  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 12F

定員 100名

講師 近藤 尚也  
本学看護福祉学部助教

東京オリンピック・パラリンピックもあり、障がい者のスポーツ参加(パラスポーツ等)への関心が高まっています。競技として着目されることも増えていますが、生活を充実させていくための社会資源として、アダプテッド・スポーツの視点から考えて行きたいと思います。

医療×地域×健康講座⑥  
道民カレッジ連携講座 主1

### 11 音楽で楽しく脳や体を動かしましょう

受講料 無料 9月12日(木)  
10:00~12:00

会場 当別町役場  
総合保健福祉センター・ゆとろ  
石狩郡当別町西町32-2

定員 50名

講師 近藤 里美  
本学リハビリテーション科学部教授

私たちと音楽の深い結びつきを理解しながら、実際に脳や体を動かす楽しい音楽を体験します。音楽の知識や技術は必要ありません。なぜなら、私たちがすでに音楽的な存在だからです!

当別町共催セミナー③  
道民カレッジ連携講座 共1

### 12 いつまでも生き生きと暮らすために —運動機能の向上と重要な栄養について—

受講料 無料 10月17日(木)  
10:00~12:00

会場 当別町白樺コミュニティセンター  
石狩郡当別町白樺町2792番地1

定員 50名

講師 池森 康裕  
本学看護福祉学部講師

老年期において実り多い人生を送るためには、介護が必要となる原因を正しく理解することが重要です。本セミナーでは、セラバンド(ゴムバンド)を使って体を動かしながら運動機能の向上方法を学びます。さらに、筋肉の発達に必要な栄養素についてご紹介します。

当別町共催セミナー⑤  
道民カレッジ連携講座 共1

## II 生活に関する講座

### 13 これからの災害に向けた心得と食 —私たちの命を守るために—

受講料 無料 5月18日(土)  
14:00~16:00

会場 本学札幌サテライトキャンパス  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 12F

定員 100名

講師 佐々木 貴子  
北海道教育大学札幌校教授

2018年9月の北海道胆振東部地震により様々な被害を受け、当たり前と思いき、生活してきた環境が一変しました。今後、いつ起きるかわからない災害に対して、私たちが命を守り、つなぐための「防災」を「食」を中心に語り、理解を深めましょう。

看護福祉学部同窓会主催セミナー  
道民カレッジ連携講座 後-3

#### 講師紹介

▶近藤 尚也(こんどう なおや)  
1983年生まれ。北海道教育大学大学院教育学研究科修士課程修了。06年北海道教育大学岩見沢校生涯教育課程卒業。12年同大学院修了。北海道立福祉村、社会福祉法人わらしべ会、社会福祉法人北翔会で脳性まひや重症心身障がいがある方への生活支援の経験を経て14年より現職。障がいのある方の余暇やスポーツ活動と、それを通じた社会資源のネットワーク構築に取り組む。社会福祉士、介護福祉士、初級障害者スポーツ指導員。  
○専門研究分野/障がい福祉、アダプテッド・スポーツ

▶近藤 里美(こんどう さとみ)  
84年千葉大学教育学部音楽科卒業、96年カピラノ大学音楽療法学科卒業。02年サイモン・フレーザー大学院カウンセリング心理学修了。カナダ・ヴァンクーヴァーのセントポール病院集中治療室、精神科病棟、緩和ケア病棟に音楽療法士として勤務。03年4月より北海道医療大学看護福祉学部勤務。15年10月より現職。  
○専門研究分野/音楽療法の質的研究

▶池森 康裕(いけもり やすひろ)  
1975年生まれ。札幌医療福祉専門学校卒業。東北福祉大学大学院総合福祉学研究所社会福祉学専攻修了。95年特別養護老人ホーム介護福祉士、04年國學院短期大学専攻科専任講師を経て、09年より現職。高齢者の社会活動のあり方について検討しています。近年は、老年期においても効率的な骨格筋の発達方法について研究を進めています。社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、介護予防運動指導員。  
○専門研究分野/高齢者福祉、介護予防活動、介護福祉教育

#### 講師紹介

▶佐々木 貴子(ささき たかこ)  
78年北海道教育大学卒業、92年兵庫教育大学大学院修了。小・中・高等学校家庭科に関する学習内容や指導方法、教材開発など実践研究に取り組んでいる。また、阪神・淡路大震災を機に、学校現場に防災の視点を取り入れた教育の必要性を感じ、研究に着手した。現在は、防災や食育という視点を取り入れた学校教育の在り方や教材開発等にも取り組んでいる。教育学修士。著書に「家庭生活と地域の関わりを考えよう」、「平成28年度版中学校技術・家庭(家庭分野)文部科学省検定教科書(共著)」など。論文多数。  
○専門研究分野/家庭教育学、食育、防災教育

## II 生活に関する講座

### 14 コミュニケーション力を育てる アナログゲーム療育

受講料 無料 7月20日(土)  
14:00~17:00

会場 本学札幌サテライトキャンパス  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 12F

定員 30名

講師 松本 太一  
アナログゲーム療育アドバイザー

ゲームを通じて子ども同士が関わりながらコミュニケーション力を身につけるのがアナログゲーム療育です。参加者のみなさんに実際にゲームを体験していただきながら、お子さんのコミュニケーション力を育てる方法をお伝えします。

臨床心理学科同窓会主催セミナー  
道民カレッジ連携講座 共-2

### 15 弱っちい私を隠さない —わたしに寄り添いながら楽しんで働く—

受講料 無料 9月1日(日)  
10:00~12:00

会場 ACU研修室 1606  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 16F

定員 150名

講師 佐渡 貴子  
歯科衛生士・占星術セラピスト

自分の予想に反し、気がつくと30年以上も歯科衛生士をやっていました。怖がりでも器用な私が今、楽しく働けているのは、出来ない自分を受け入れて肩の力を抜いたからかもしれません。自分をジャッジせずに、自分を受け止めてあげられたら、きっと未来を進む力になります。そんな事をお伝えできたらと思います。

北海道医療大学歯学部附属  
歯科衛生士専門学校同窓会主催セミナー  
道民カレッジ連携講座 後-5

### 16 子どもの未来につなぐ医療・福祉・教育

受講料 無料 9月14日(土)  
10:10~11:40

会場 ACU研修室 1606  
札幌市中央区北4条西5丁目  
アステイ45 16F

定員 100名

#### 講演1 子どもたちが、家族と一緒に、仲間と一緒に、楽しめる居場所づくり

講師 佐々木 健一郎  
公益財団法人そらぶちキッズキャンプ事務局長  
宮坂 真紗規  
公益財団法人そらぶちキッズキャンプ看護師

病气や障がいをもつ子どもときょうだい、家族を対象とした日本初医療ケア付自然体験施設「そらぶちキッズキャンプ」の取り組み、子どもたちや家族の様子について、ご紹介いたします。

#### 講演2 親として、手話落語家として想う医療と福祉

講師 林家 とんでん平  
落語家・手話落語家  
元札幌市議会議員

手話による落語への取り組み、その後の子供の発病や札幌市議会議員としての活動経験から、医療と福祉への想いを、手話落語も含めながら、みなさんへお伝えします。

#### 講師紹介

▶松本 太一(まつもと たいち)  
1980年生まれ。東京学芸大学大学院教育学研究科障害児教育専攻修了。在学中は自閉症児療育の「太田ステージ」開発者である太田昌孝の指導のもと、東大病院や通級指導教室でソーシャル・スキル・トレーニングの実践研究を行う。卒業後は、福祉団体や人材紹介会社で成人発達障害者の就労支援に携わる。その後、放課後等デイサービスの大手FCチェーンに就職。入社後3ヶ月で本部教室の副教室長として抜擢され、発達障害児の療育プログラムの作成に携わる。2015年6月に独立。現在はフリーランスの療育アドバイザーとして、「アナログゲーム療育」の普及・啓発と療育機関の専門性向上のためのコンサルティングを行っている。著書に「コミュニケーション力を伸ばすアナログゲーム療育」  
○専門研究分野/発達心理学、障害児療育

▶佐渡 貴子(さど たかこ)  
北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校卒業。開業医、道立保健所、町役場にて歯科衛生士として従事。仕事を通して人の行動変容に興味を持ち、コーチング、NLPや心理学を学ぶ。又、アロマセラピーやカラーセラピー等の資格を取得すると共に占星術他の占術を学び続けている。現在は開業医での非常勤歯科衛生士と占星術セラピストとして地元を中心に活動している。デンタルハイジーン、DHStyleにて連載記事執筆、日高管内自治体、各種団体、住民等を対象に講座やイベントを行っている。  
○専門研究分野/歯科衛生士、アロマセラピスト、色彩心理診断士(履修)リトリーブサイコロセラピー応用修了、西洋占星術上級修了

▶佐々木 健一郎(ささき けんいちろう)  
そらぶちキッズキャンプ事務局長。大阪の造園コンサルタントで、公園の企画・設計に携わったのち、そらぶちキッズキャンプの創設からかわかる。

▶宮坂 真紗規(みやさか まさき)  
そらぶちキッズキャンプ看護師。聖路加国際病院勤務を経て、そらぶちキッズキャンプの医療を担当している。

※そらぶちキッズキャンプは、04年3月に、「病气とたたかう子どもたちに夢のキャンプをつくらう」と有志が集まり創設。08年12月に一般財団法人、10年2月に公益財団法人となる。小児がんや心臓病などの難病とたたかう子どもたちに、医療支援体制のある特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを設け、夢のキャンプを提供している。

▶林家 とんでん平(はやしや とんでんへい)  
1952年生まれ。78年に初代林家三平の芸の迫力を目の当たりし、入門を決意。79年小樽~東京間1,000kmをリヤカーを引いて入門の旅を行う。80年8月に林家三平最後の弟子となり、9月20日三平没後、林家こん平門下へ。90年に手話落語を手掛け、94年に真打昇進。96年子供の治療の為、札幌市に移住。03年4月子供のことからさらに福祉活動に興味を持ち、札幌市議会議員に立候補し当選。厚生常任委員会副委員長など、15年4月までの3期12年務める。主な出演・作品は、映画「秋桜」、日本テレビ「笑点」(手話落語など)他。現在は、落語家として活躍するとともに、「落語・お笑い研究会」を主宰し落語の指導にもあたっている。  
○専門研究分野/落語、手話落語